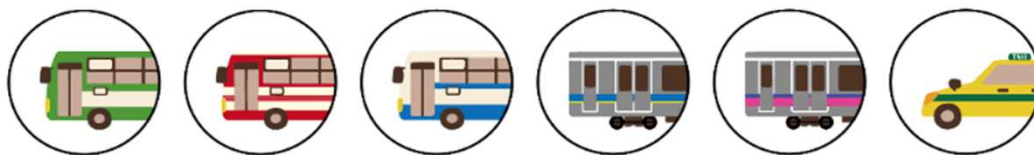


滝沢市の公共交通施策の概要と今後の展開

《 第8回おでかけ交通博2023 inもりおか 》

令和5年10月27日

滝沢市 都市整備部 都市政策課



1. 市内の公共交通



滝沢市・・・

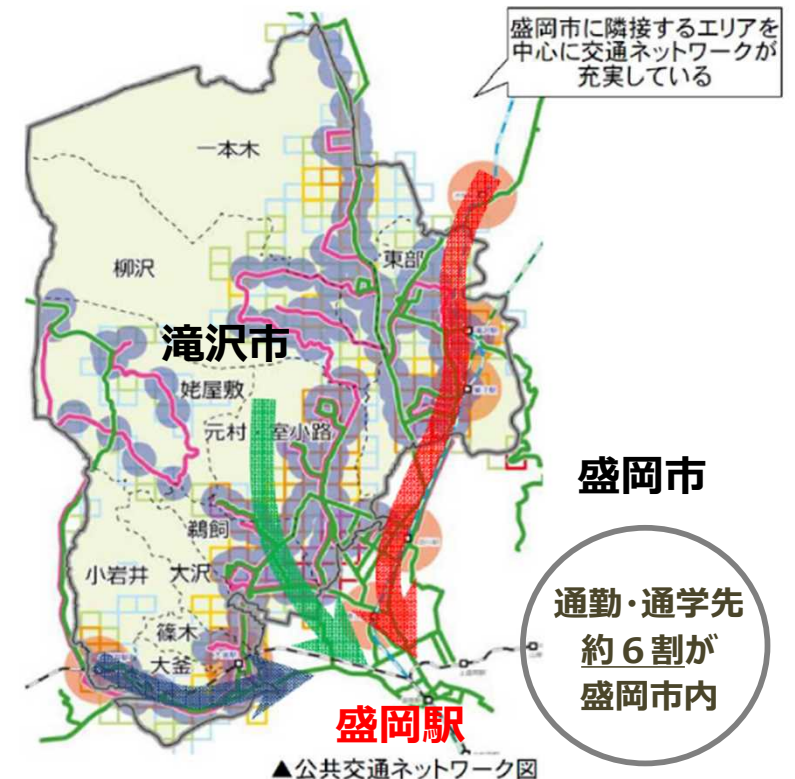
- ◇人口約5万6千人（H26.1.1 村から単独市制移行）
- ◇県都盛岡市に隣接（ベッドタウン）、高齢化率：約26%
- ◇研究学園都市（国・県研究機関・大学等教育機関が集積）

滝沢市の公共交通は県内で
2番目に充実している

- ①鉄道・・・JR田沢湖線（大釜駅、小岩井駅）
IGRいわて銀河鉄道線（滝沢駅、巣子駅）
- ②路線バス・・・岩手県交通
岩手県北バス
JRバス東北
- ③市営バス・・・福祉バス
- ④タクシー・・・雫石タクシー
滝沢交通
みたけタクシー
- ⑤その他（市事業）・・・患者輸送バス
福祉タクシー助成



市内の多くの公共交通が
盛岡駅へ向かっている



2. 市公共交通計画



滝沢村公共交通計画【平成18年3月策定】（計画期間：10年）

- 滝沢村公共交通計画期間終了〔平成28年3月〕
- 公共交通を取り巻く環境の変化（人口減少、マイカー依存など）
- 第1次滝沢市総合計画（平成27年度～）との整合
- まちづくりや観光、健康・福祉など各種関連計画との連携



滝沢市地域公共交通網形成計画

【平成29年9月策定】（計画期間：5年半→7年半）

特に市内バス路線の再編と交通拠点の整備に重点を置きつつ、利用促進策、交通環境整備などを含めた施策体系を定める。

公共交通の利便性向上プロジェクト

公共交通の認知度向上プロジェクト

公共交通の環境改善プロジェクト

多様な主体と連携・協働プロジェクト



3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



①市役所周辺のバス運行経路の見直し

滝沢市交流拠点複合施設【ビッグループ滝沢】オープン（H29.4月）、路線バス運行の効率化、さらには現在進めている市役所前の中心拠点整備（商業地）を見据え、滝沢営業所発の岩手県交通バス（青山町線）をビッグループ滝沢経由に運行経路の見直しを行った。



✓課題となっていた元村地区（人口集中地区）から市役所周辺への足が確保された。

✓市役所発の路線バスを大幅に減便することが可能となり、運行の効率化が図られた。

✓ビッグループ滝沢に直接乗り入れることにより利便性が向上した。

✓現在進めている市役所前の中心拠点形成の公共交通軸の一部を担うものとなる。

- ・路線バス（青山町線系統）の目的地表示【方向幕】をわかりやすく改善
⇒ 滝沢市役所またはビッグループ滝沢へ向かうバスには必ず「ビッグループ滝沢」を方向幕に表示
- ・市役所（自動販売機）、ビッグループ滝沢（観光案内所窓口）でバスカード販売を開始
⇒ バスカードの購入が容易にできることでバスの利用促進を図る。※現在はICカード移行により廃止

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



②市役所周辺のバス待合環境等整備

バスを利用していただく「おもてなし」として、市役所周辺の各バスのりばの待合環境等を整備



▲のりば案内



▲ 1 番のりば（ビッグルーフ滝沢）

[バスまちの小屋根、LEDバス停、ベンチ、サイクルポートを整備]



▲ 2 番のりば（滝沢市役所前〈道路沿い〉）

[ボックスシェルター、ベンチを整備]



▲ 3 番のりば（滝沢市役所前〈敷地内〉）

[既存バスシェルターにサイン施工、ベンチを整備]



▲ビッグルーフ滝沢、滝沢市役所内

[バスロケデジタルサイネージを設置（5箇所）]

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）

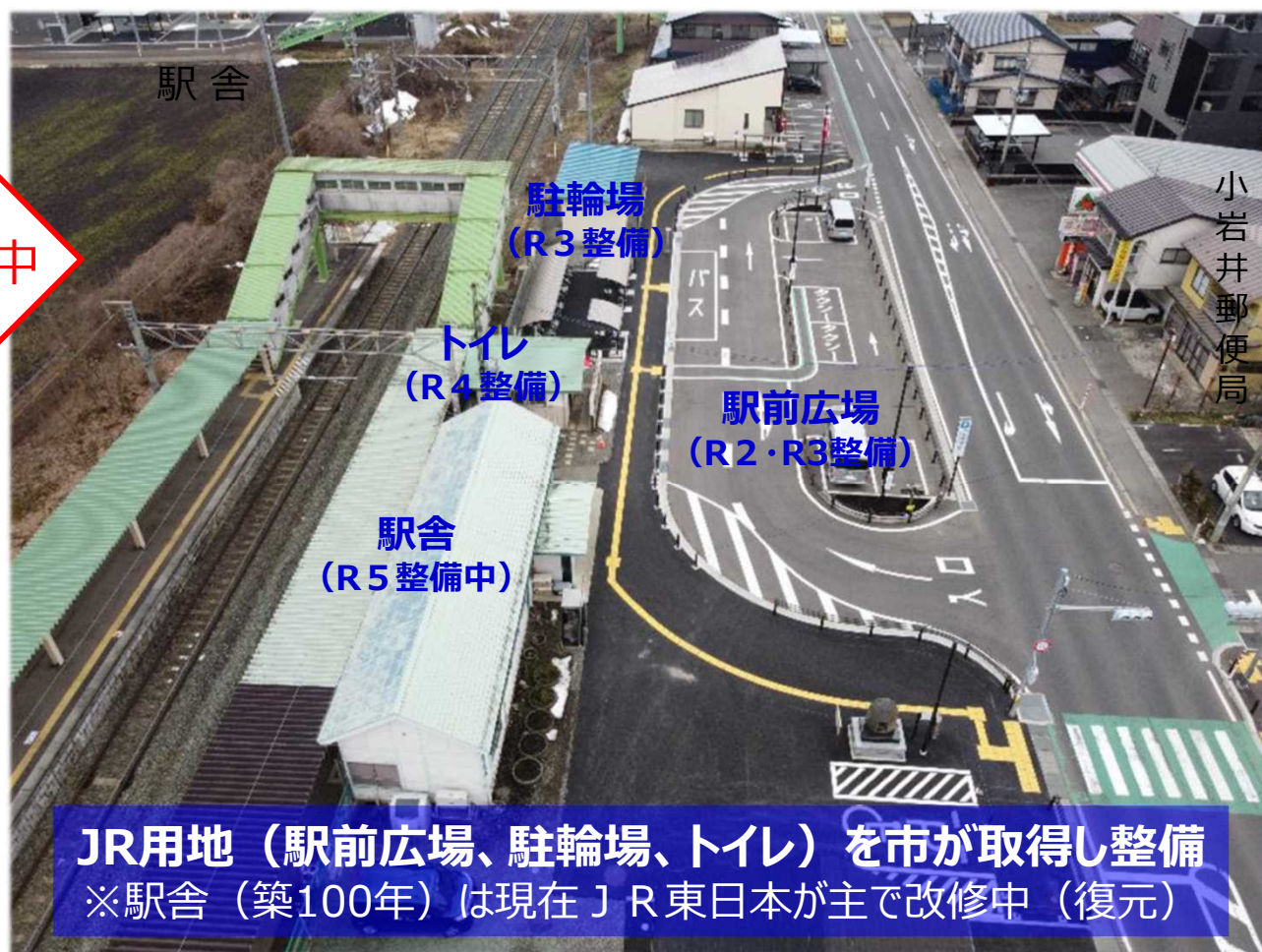


③JR小岩井駅周辺整備（観光拠点）

交通結節点、さらには観光施設で歴史的建造物21棟（国重要文化財）を有する「小岩井農場」の観光拠点駅として機能向上を図るため駅前広場、トイレ、駅舎（開業時に復元）を整備



整備中



▲JR小岩井駅
（整備前）



◀宮沢賢治と小岩井駅
（宮沢賢治は青年期
に小岩井農場に何度
も訪れていた。）

JR用地（駅前広場、駐輪場、トイレ）を市が取得し整備
※駅舎（築100年）は現在 J R 東日本が主で改修中（復元）

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



④「たきざわバスまつり（たきざわのりものフェスタ）」の開催

公共交通の認知度向上や潜在的ニーズ層における利用への転換を目的とし、バスの乗り方教室を中心としたイベントを開催（平成30年、平成元年、令和4年）※岩手県立大学生も参加



ビッグルーフ滝沢（始発・終点）



※実際に公道を運行



滝沢総合公園（経由地）



▲バスの乗車体験及び乗り方教室（ビッグルーフ滝沢 ⇄ 滝沢総合公園）

3. 公共交通施策 (網形成計画の主な取り組み)



⑤「Out of KidZania in 滝沢」の開催

子どもたちが公共交通のお仕事を体験。「鉄道マンの仕事」(IGRいわて銀河鉄道)、「バス運転手の仕事」(岩手県交通)のプログラムを実施(令和元年、令和2年)

Out of KidZania

楽しく学べる
仕事体験!!

アウト オブ キンザニア
Out of KidZania
in 滝沢 第2回

日時 2021. 2.13(土) ~ 3.6(土)
(特定日開催)
詳しくは観覧室をご覧ください。

会場 ビッグルーフ滝沢

対象 小学1年生~中学3年生

料金 700円(税込)/1プログラム
※お申し込みは1回につき1名までです。
※お申し込みは2021年1月31日(金)までです。
※お申し込みは1回につき1名までです。

チケット購入方法

申込会場 ビッグルーフ滝沢 観覧案内
申込時間 2.7(日) 9:00~
詳しくは「ビッグルーフ滝沢」の
ホームページをご覧ください。

※お申し込みは「ビッグルーフ滝沢」の
ホームページをご覧ください。



3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑥「チャグバス」の運行

観光事業（チャグチャグ馬コ）とタイアップ。目に留まるデザインに装飾した「チャグバス」を期間限定の路線バスとして運行、チャグチャグ馬コのPRとバスの利用促進を図る。（平成30年～）

路線バス沿線の保育園の園児がチャグバスを装飾



3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑦ IGRいわて銀河鉄道車両への全面ラッピング

IGR初となる1編成（2両）の全面ラッピングを行うことにより、県内外からの注目度を高め、IGRの認知度向上により、マイレール意識の醸成、利用者の増加を図る。（令和2年）



デザイン①【海側（滝沢市側）】



キャラクターたちとともにチャグチャグ馬コが市内名所の前を行進する様子が楽しく描かれている。



デザイン②【山側（IGR側）】



IGRの社色のスターライトブルーをベースに銀河をイメージ。キャラクターたちが銀河に浮かぶ。



▲プロジェクトチーム

デザインを担当した(株)ピーぐるをはじめ岩手県立大学生、IGR、滝沢市で構成する女性だけの検討チームを発足

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑧「滝沢市公共交通マップ」の作成

市内公共交通の路線図、乗り継ぎ案内、バスの乗り方、便利なきっぷなどの情報を掲載。
初年度は全戸配布し、次年度以降は、盛岡駅や市内主要施設と市民課窓口で転入者へ配布



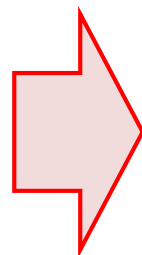
▲2017 ver.



▲2019 ver.



〈ミウラ折り〉



たきざわバスまつりでの公共交通マップアンケートなどの結果を踏まえ、
地区別路線図などを加えてより見やすい公共交通マップへ変更



▲2020 ver.



▲2021 ver.



3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑨ 各種公共交通ガイドの作成

バス、電車の乗り方、情報（魅力）発信ガイド、公共交通の使い方（MM）ガイドなどを作成し、各種イベント時、次期通学層である市内の全小中学生、市への転入者に配布



▲バスのおでかけ楽しくなっちゃんガイド

▲ I G R すきになっちゃんガイド

▲ 公共交通のうま～い使い方ガイド

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑩「広報たきざわ」掲載による公共交通に関する情報発信

市の広報誌により公共交通の現状や在り方などを発信し、市民の意識醸成を図るとともに、公共交通への関心を高めるため、たきざわバスまつりやチャグバスなどの様々な情報を発信



▲R1.10月号 特集（巻頭ページ）
「マイカーとバスの上手な活用術」
〈交通ジャーナリスト 鈴木 文彦氏〉

▲R2.12月号 特集（巻頭ページ）
「コロナ禍での公共交通利用と
高齢ドライバーの運転継続」
〈岩手県立大学 准教授 宇佐美 誠史氏〉

現在まで計17回の情報発信

〈その他〉

OH29年11月号 特集（巻頭ページ） ⇒ 「公共交通とマイカーの限界」
OH30年6・8月号、R1年6・7・9月号、R2年6・10月号、R3年7月号、
R4年1・5・6・7・8・12月号 ⇒ 公共交通に関する情報発信

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑪ 公共交通セミナーの開催（自治会長、市議会議員、市職員）

公共交通に関する意識醸成を図ることを目的に、交通ジャーナリストの鈴木文彦氏を招き、全地区の自治会長、市議会議員全員、市職員全員を対象にセミナーを開催。



▲自治会長対象セミナー

【講師】
交通ジャーナリスト
鈴木文彦氏



▲市議会議員対象セミナー



▲市職員対象セミナー

セミナーでは地域公共交通の現状や課題、これからのあるべき姿などについて講話をいただき、公共交通の積極的な利用を促すとともに、将来、地域が中心となって公共交通に関わる施策を自発的に展開することを啓発した。

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑫ 大学生による市公共交通施策への参画

大学生が網形成計画に挙げられている市の公共交通課題を取り上げ、その中からテーマを決め、実現可能な解決策を市の公共交通施策として実行することを目的に企画などを立案。また、市がアルバイトとして大学生を採用し、市の施策に携わるとともに市役所（公務員）の仕事も学ぶ。

岩手県立大学総合政策部【宇佐美准教授】の授業で企画立案（大学1年生）



▲交通事業者も参加、アドバイスをもらう



授業の様子

H29年度から現在まで
毎年、後期授業で実施



★学生が立案した企画内容★

- ・バスの乗り方教室
 - ・たきざわバスまつり
 - ・県大生向け公共交通パンフレット
 - ・公共交通マップの改善
 - ・高齢者向け公共交通マップ
 - ・転入者モビリティ・マネジメント
 - ・IGRラッピング車両を活用した利用促進策
- etc.



▲高齢者へのヒアリング調査なども実施



▲発表会

大学生アルバイト



公共交通回数券購入等補助事業の申請書類の入力作業や窓口対応、公共交通マップの更新作業など市公共交通施策に携わる。



3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）

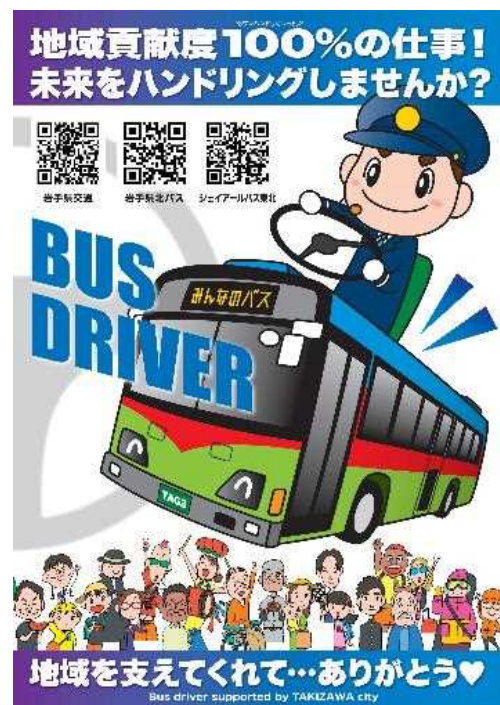


⑬ バス・タクシー運転手確保に向けた取り組み

深刻化するバス・タクシーの運転手不足解消に向け、ポスター・チラシを作成。市内各施設に掲示するとともに、盛岡広域の就職率が高い高等学校（13校）へ配布。
また、たきざわバスまつりではバス運転手PRブースを設け、仕事紹介を行った。

【2019 ver.】

（表） 【2023 ver.】 （裏）



▲作成した各種ポスター・チラシ

▲たきざわバスまつりでの
バス運転手PRブース

3. 公共交通施策（網形成計画の主な取り組み）



⑭市職員の出張における路線バスの利用促進

市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進を行い、職員自らが公共交通の利用機会を創出するとともに、日常的な公共交通の利用につなげる。

（市民に対しての公共交通利用の啓発、環境への負担軽減などのメリットも・・・）

市職員の盛岡方面（盛岡駅付近、県庁・合同庁舎など）への出張における移動手段のほとんどが公用車
実は平日の朝から夕方までは盛岡方面へ向かう岩手県交通バスが20分～30分間隔で運行 → 意外と便利
⇒ 現行の市旅費制度で路線バスを利用した出張は可能であるが、手続き（伝票処理、後精算など）があり、手続きが容易な公用車を利用する職員が多い。積極的にバスを利用できる環境づくりが必要

市旅費制度を改定し、市職員が**バスカード（ICカード）**を利用した出張を可能とした。

現在までの延べ利用人数は 約 4 0 0 人以上

平成30年11月から全庁での試験運用を実施
令和元年11月から本格運用

【バスカード使用制度の試行について】

- 公共交通の利用促進のため、職員の出張の際にバスカードが使用できるようになりました。
- 県庁・盛岡駅方面へは、ビッグブルー・市役所から20分おきにバスが出ているのでバスの利用が便利です。
- 詳しい使用方法是、下記のファイルをご覧ください。

ファイル管理 - (バス時刻表)

タイトル	ファイル名	更新日時	サイズ
★ 右の時刻表をクリックしてください ⇒	ビッグブルー・市役所・盛岡駅・盛岡駅バス時刻表(R1.10.1改正)【平日】.pdf	2019年09月30日(月)	170 KB
★ 使用方法是右をご覧ください ⇒	バスカードの使用法(最終変更20190408).docx	2019年04月10日(木)	132 KB

スケジュール (グループ選択)

2019年04月14日(日)

ユーザー (1-3 件表示 / 3 件中)

ユーザー	04/14 (日)	04/15 (月)	04/16 (火)	04/17 (水)	04/18 (木)	04/19 (金)	04/20 (土)
バスカード (A)	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張	09:00-14:00 県庁・盛岡駅方面へ出張

▲ 職員の内部情報システムからバスカード利用予約ができる。

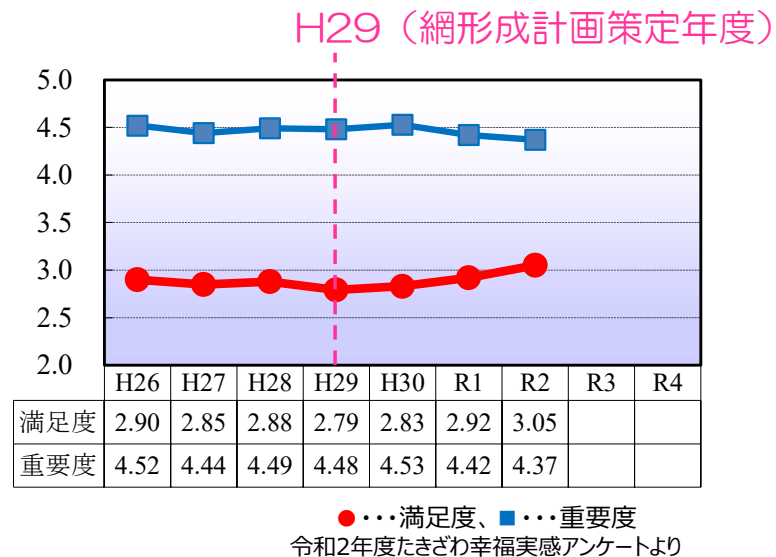
4. 成果と課題



市民アンケート『たきざわ幸福実感アンケート』の結果から、市内公共交通の満足度や利用しやすいと思っている人の割合が網形成計画策定年度〔H29〕から徐々に上昇《**一定の成果**》

交通の便がよく、移動がしやすい

重要度・満足度の推移



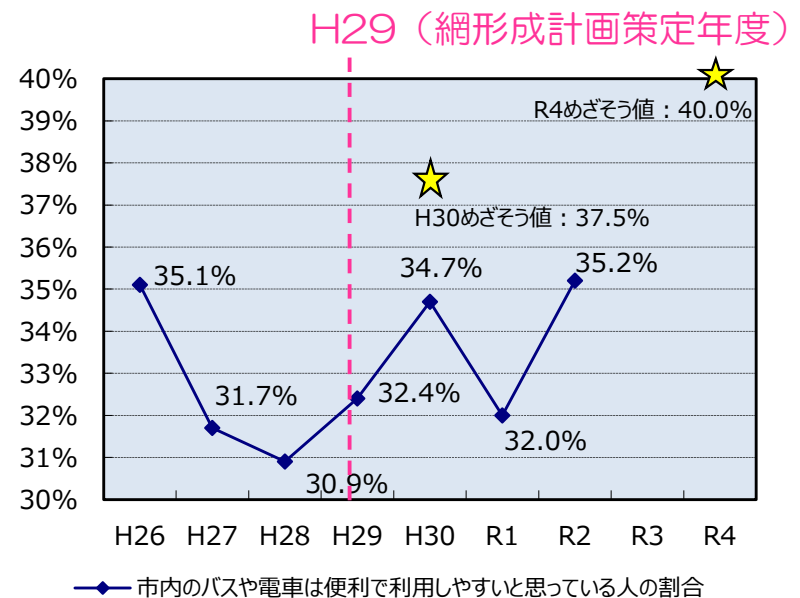
満足度〔5点満点〕

2.79点（H29）⇒ 3.05点（R2）

〔↑0.26点〕

市内のバスや電車は便利で利用しやすい
と思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



32.4%（H29）⇒ 35.2%（R2）

〔↑2.8%〕



現在に残る **課題** など



□やはり車社会（岩手県）

自家用車の便利さに勝るものはない（特に冬季の移動）。公共交通と車を上手に使い分けるためには、待合環境、乗り継ぎなど改善しなければならないことが沢山ある。【交通事業者も行政も資金難】

□公共交通に関する意識改革の難しさ

広報誌やホームページ、意見交換会などで市民へ公共交通に関する情報発信を行ってきたが、運賃の引下げ、新規路線の要望が未だに多い。乗り継ぎが良くても直通じゃないと乗らないとの意見も・・・

□バス停や交通結節点までの足の確保

特に免許を持たない高齢者の移動に関して、公共交通に乗りたくても最寄りのバス停などに徒歩で行けない（特に冬季は厳しい）。福祉部局などとの連携が必要

□バス、タクシーの運転手不足が深刻

バス路線の再編、タクシーを活用した新たな交通サービスを展開したいが、運転手がいなく制限される。コロナが輪をかけ黒字のバス路線も減便せざるを得ない状況。市内のバス路線も毎年減り続けている。

□行政職員も人手不足

財政難により人件費も削減。一人で多分野の仕事をこなさなければならない状況。公共交通担当への専任が困難になるかも・・・、さらに異動により新任は一から勉強（交通事業者への負担を強いる）

5. 今後の展開



◎小さな交通需要に対応した新たな交通サービス

主に中山間地区の小集落が分散し、小さな交通需要が広い地域に分散する地域の新たな交通サービスについて検討

【交通需要（柳沢、姥屋敷地区）を把握するためにR4年度に実証実験運行】

◎中心拠点商業地整備に伴うバス路線の再編

現在進めている市役所前の中心拠点商業地開発（約13ha）に伴い、市内各地からの市役所周辺への移動需要が増加する。これに対応したバス路線の再編等の検討を行い、市民の移動手段を確保する。

◎各利用促進策の継続実施

限られた財源の中ではあるが、今まで取り組んできた利用促進策を継続するとともに、新たな方策について検討し、引き続き関係機関の協力をいただきながら進める。

◎次期公共交通計画（地域公共交通計画）の策定

網形成計画の計画期間が令和4年度に終了。次期「地域公共交通計画」の策定にあたっては、本市の公共交通ネットワークの実情や生活圏の状況も踏まえ、複数市町（盛岡広域）での計画策定を行う。⇒ 盛岡都市圏地域公共交通計画（盛岡市、滝沢市、矢巾町）



ご清聴ありがとうございました

「夜の公共交通会議」をしよう！



～ みんなで支え、育て、未来に引き継ぐ公共交通 ～

